

ビワの果実障害, とくにへそ黒症について
第5報 結果枝, 果房の屈曲と発生

*浅田 謙介・中山 忠治・濱口 壽幸 (長崎県果樹試験場・*現長崎県園芸課)

ASADA, K., C. NAKAYAMA and T. HAMAGUCHI: An Injury of Loquat Fruit so called "Hesoguro"

5. The Influence of Curvature of Fruit Bearing Branch on Occurrence of "Hesoguro"

ビワの果実障害の原因を明らかにするため, 結果枝(果房)の方向と果実の形質及び果実障害の発生との関係について調査を行った。

1. 試験方法

茂木種の5年生樹を供試し, 1979年5月10日に結果枝の屈曲, 誘引処理を行い, 6月8日, 6月11日, 6月14日に着色したものより収穫, 調査した。処理は1樹に果房が垂直に上向き, 水平に横向き, 垂直に下向きの3区を設け, 各区10果房の4反復(4樹)とした。着色は, 第1回の調査日(6月8日)に全果実について調査した。

2. 結果及び考察

1) 結果枝が下向きの果実が, 他の向きに比べて, へそ黒症, へそ青症, そばかす症などの果実障害の発生が少なかった。また, 上向きと横向きでは, 横向きのほうが, 果実障害の発生は少ない傾向にあった。2) 1果平均及び着色については処理間に差はみられなかったが, 下向きの果実は糖度, 酸含量及びa値(赤色度)が低く, b値(黄色度)が高かった。

第1表 ビワの結果枝(果房)の向きと障害果の発生

処 理	へそ黒症	へそ青症	そばかす症	日焼けそばかす	日焼け	
	%	%	%	%	%	
上 向 き	51.5	54.9	57.6	6.4	0	
横 向 き	45.8	49.4	53.1	1.9	3.8	
下 向 き	26.5	22.9	41.7	0	0	
有意性	処 理	**	*	*	NS	NS
	下向き:上向き	**	**	*	NS	NS
	下向き:横向き	**	*	NS	NS	NS
	横向き:上向き	NS	NS	NS	NS	NS

第2表 ビワの結果枝(果房)の向きと果実の形質

処 理	1果平均重	着色	色 調			糖度 (アッペ)	酸含量 g/100ml	
			L	a	b			
上 向 き	29.1	8.4	58.3	17.3	31.8	13.1	0.24	
横 向 き	27.1	8.4	58.3	17.0	32.1	13.2	0.22	
下 向 き	29.9	8.7	59.1	16.2	32.5	12.4	0.20	
有意性	処 理	NS	NS	NS	**	**	**	*
	下向き:上向き	NS	NS	*	**	**	**	**
	横向き:横向き	*	NS	*	**	**	**	NS
	横向き:上向き	NS	NS	NS	NS	*	NS	NS